

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- 枕棚・中段が脱落してケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - 指定の位置に、厚さ24mm×60mm以上の硬木の棧木を必ず取付けてください。また、中段の横手方向の棧木は受棧と補強用L型アングル両方に必要です。指定寸法の棧木を2本入れるか、長さ90mm以上の棧木を使用してください。
 - 棧木には、虫食い・くされなどのない物を使用してください。
 - 棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。
 - リフォームなどの場合で、棧木が石こうボードなどで確認できない場合は、石こうボードをはがして棧木位置を確認してください。棧木がない場合は棧木を必ず取付けてください。
 - 組立ての際は、接合部など指定個所には必ず木工用接着剤(現場手配)を充てんしてください。又、組立て後は接着剤が硬化するまで(半日以上)養生してください。
 - 固定の際は指定のねじを指定の本数使用し、棧木には20mm以上かかるようにしてください。
 - 製品幅寸法が1931mmを超える場合は補強用束(枕棚の場合は別売品のアングルセットかのどちらかを)必ず取付けてください。

■取付け上のおお願い

- 壁面(躯体)に固定する際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を調整してください。
- 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープなどを化粧面に張らないでください。はがす際に、化粧シートが損傷するおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用しますと、部品・部材の脱落や垂下り・ゆがみなどの原因となります。
- 現場で使う木工用接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 湿気がこもる外壁裏への設置、多湿の個所への設置、コンクリートやモルタルへの設置はしないでください。基材のソリ・ねじれ・腐食の原因となります。
- 下地材は、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因となります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)

■部材・部品一覧表

■部材一覧表

(寸法単位: mm)

	部材名	棚板				前框				受棧 ※枕棚用のみ化粧シート貼り					補強用束		雑巾摺				
		900 (960)	1350 (1430)	1810 (1930)	2700	900 (960)	1350 (1430)	1810 (1930)	2700	(450)	600 (600)	900 (960)	1350 (1430)	1810 (1930)	2700	950	1950	600 (600)	900 (960)	1350 (1430)	1810 (1930)
中段	W09 (W10)	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	-	-	3 (3)	-	-	-	-	-	-	3 (3)	-	-
	W13 (W15)	-	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	-	2 (2)	(1)	-	-	-	-	-	2 (2)	(1)	-
	W18 (W20)	-	-	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	-	2 (2)	-	-	-	-	-	-	-	2 (2)
	W27	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	2	-	-	1	1	-	-	1	-	2
枕棚	W09 (W10)	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	(2)	-	2 (1)	-	-	-	-	-	-	2 (2)	-	-
	W13 (W15)	-	(1)	-	-	-	(1)	-	-	(2)	-	1	(1)	-	-	-	-	-	(1)	(1)	-
	W18 (W20)	-	-	(1)	-	-	-	(1)	-	(2)	-	1	-	(1)	-	-	-	-	(1)	-	(1)
	W27	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	2
枕棚(D○○○用)	(W10)	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	-	(2)	(1)	-	-	-	-	-	(2)	(1)	-	-
	(W15)	-	(1)	-	-	-	(1)	-	-	-	(2)	-	(1)	-	-	-	-	(2)	-	(1)	-
	(W20)	-	-	(1)	-	-	-	(1)	-	-	(2)	-	-	(1)	-	-	-	(2)	-	-	(1)
	W27	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	1	1	-	-	-	2

※1. ()内はメーターモジュール用の寸法となります。
2. W27の後雑巾摺りは1810mmを突き合わせて使用してください。

■部品セット表

部品名		中段	枕棚
受桟固定用ねじ (キャップ・ワッシャー付) (皿タッピンねじ φ4×60)		各13	各13
前枠固定L型アンクル (30×30<90°>)		3	3
取 付 け 用 定 型 ア ン ク ル	前枠固定用ねじ (トラスタッピンねじ φ4×20)	3	3
	棚板固定用ねじ (トラスタッピンねじ φ4×12)	3	3
前枠補強L型アンクル (24×40<90°>)		2	-
取 付 け 補 強 用 定 型 ア ン ク ル	躯体固定用ねじ (皿タッピンねじ φ4×40)	4	-
	前枠固定用ねじ (皿タッピンねじ φ4×20)	2	-
L字納まり用 前枠-横受桟連結ねじ (皿タッピンねじ φ4×50)		-	2

(部品セット表つづき)※W27用のみ同梱

部材・部品名	数量	部材・部品名	数量
補強用束 上部連結ねじ (皿タッピンねじ φ4×50)	2	補強用束 L字アンクル固定用ねじ (皿タッピンねじ φ4×20)	2
補強用束 下部固定L型アンクル (24×40<90°>)	1	補強用束 L字アンクル固定用ねじ (皿タッピンねじ φ4×12)	1

■別売品

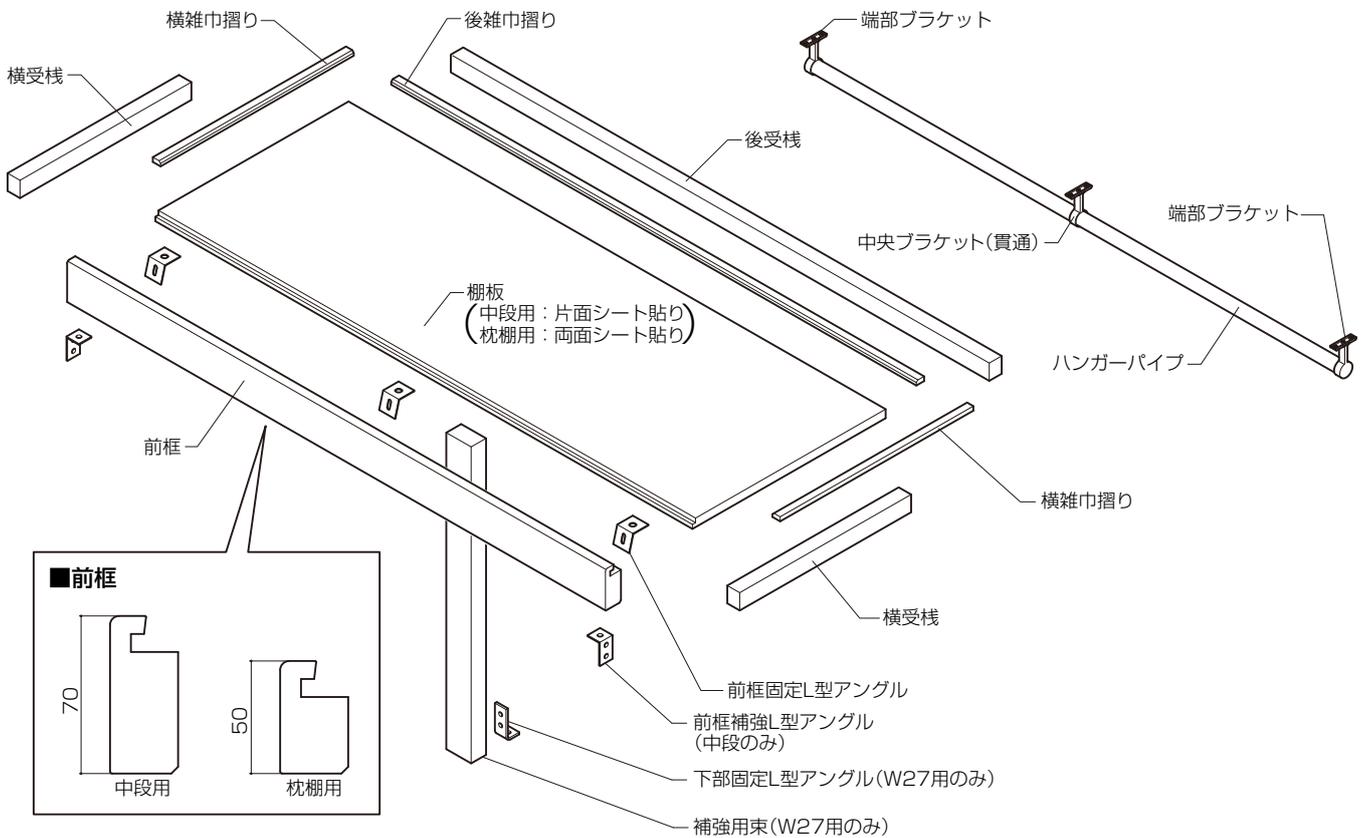
ハンガーパイプセット

部材・部品名	サイズ呼称	W10用	W15用	W20用	W27用
ハンガーパイプ φ32	パイプ長さ	904	1374	1874	2644
	数量	1	1	1	1
端部ブラケット		2	2	2	2
中央ブラケット(貫通)		-	1	1	2
ブラケット固定ねじ(棚板下用) (皿タッピンねじ φ3.5×16)		4	6	6	8
ブラケット固定ねじ(棚板上用) (特平小ねじ M4×25)		2	3	3	4

アンクルセット

部材・部品名	数量	部材・部品名	数量
アンクル	1	取付けねじ (丸皿木ねじ φ3.5×38)	4
		取付けねじ (丸皿木ねじ φ3.5×32)	2

■各部名称図

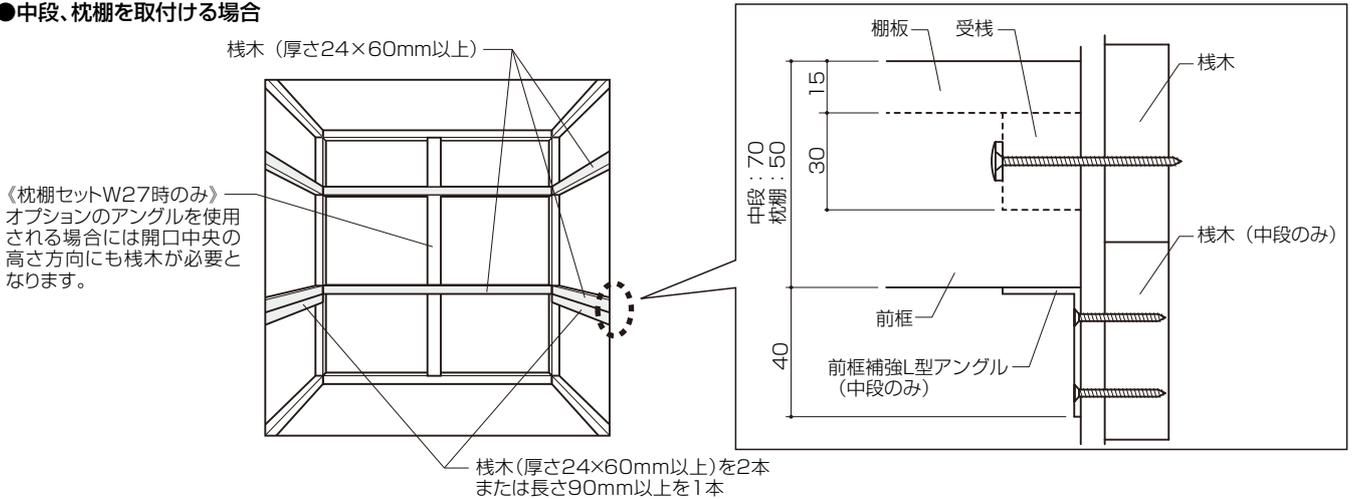


※補強用束と下部固定L型アンクルは製品幅寸法が1931mm以上の場合のみ取付けします。
ただし、枕棚で別売品のアンクルを取付けする場合は不要です。

■据付け前の準備

■枕棚・中段の取付け位置を確認し、受棧の位置に棧木を配置してください。

●中段、枕棚を取付ける場合

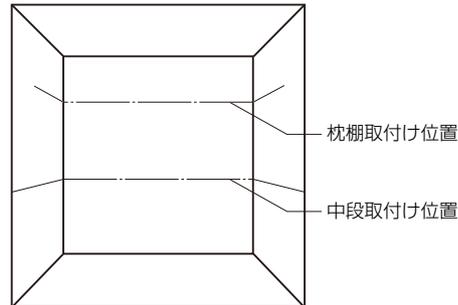


▲警告

- 指定の位置に、厚さ24×60mm以上の硬木の棧木を設置してください。また、中段の横手方向の棧木は受棧と補強用L型アングル両方に必要です。指定寸法の棧木を2本入れるか、長さ90mm以上の棧木を使用してください。
- 棧木には虫くい、くされなどのない物を使用してください。
- 棧木は必ず柱・間柱に釘などで固定してください。

■枕棚・中段の取付け位置に墨打ちをしてください。

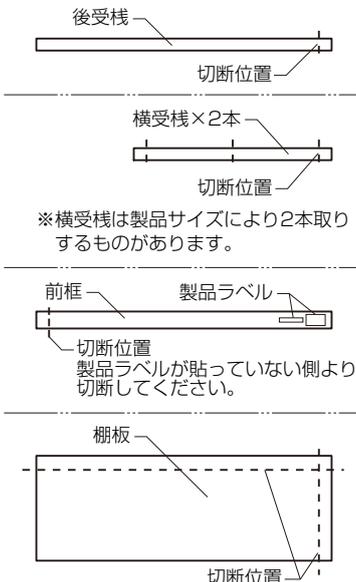
※水平・垂直・直角を確実にし出してください。水平・垂直・直角が出ていない場合、部材にすき間が生じたり組立てられないおそれがあります。



■部材の準備(手順)

■受棧、前框、棚板の切断

①部材を切断します。

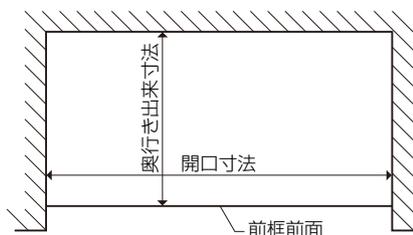


■部材の準備(詳細)

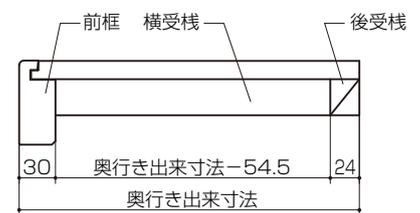
■受棧、前框、棚板の切断

①枕棚・中段の開口寸法、奥行き出来寸法に合わせて部材を切断します。

●横断面図



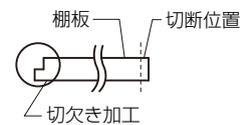
●製品横断面図



●切断寸法表

部材	算出式 (mm)
後受棧	開口寸法
横受棧	奥行き出来寸法-54.5
前框	開口寸法
棚板	幅方向：開口寸法-5
	奥行き方向：奥行き出来寸法-10

※横受棧は、長すぎると前框と棚板の間にすき間ができ、短すぎると前框または後受棧との間にすき間が発生しますのでご注意ください。

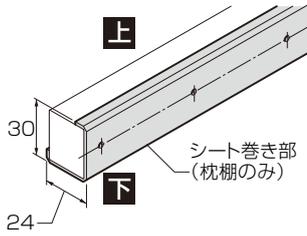


※棚板の奥行きカットは切欠き加工のない側を切断してください。

■取付け順序

■1 受棧の取付け

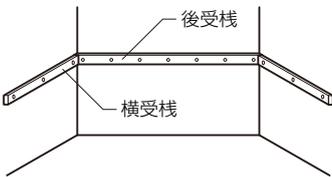
①受棧に下穴加工をします。



※枕棚用の受棧は化粧面を正面と下面に向けて加工してください。

②受棧の取付けをします。

※受棧の水平・垂直を確認して取付けしてください。



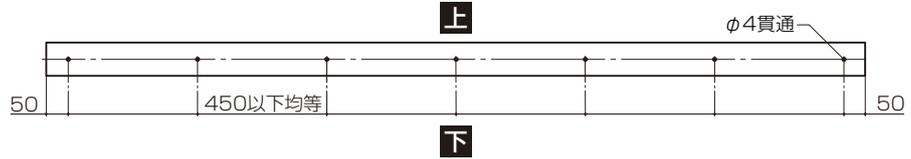
■取付け詳細

■1 受棧の取付け

①受棧左右端部から50mmの位置にφ3mmで下穴加工（貫通）をし中間部は450mm以下になるように下穴加工をしてください。

※最も部材が長い場合で 横受棧に3カ所、後受棧に7カ所の下穴加工が必要です。

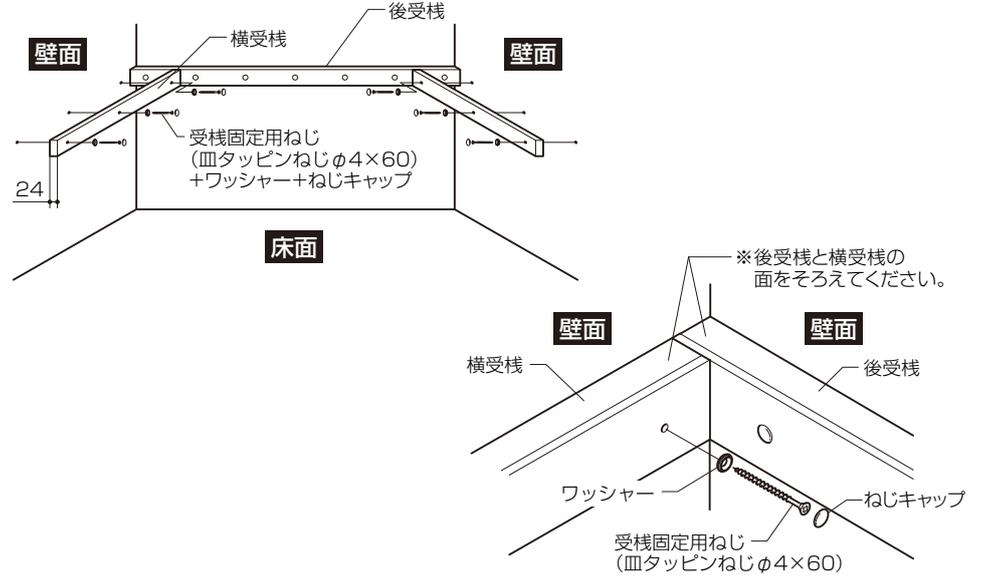
■受棧



②後受棧、横受棧の順に取付けします。

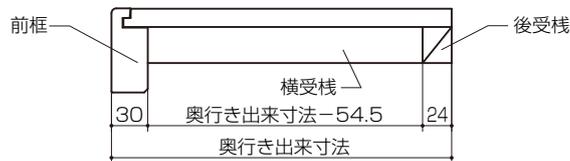
同梱の受棧固定用ねじ（皿タッピンねじφ4×60）とワッシャーで壁面に固定し、ねじキャップを取付けしてください。

※枕棚用の受棧は化粧面を正面と下面に向けて取付けしてください。



■(枕棚の幅寸法が1931mm以上で補強用束を使用せず)別売品のアングルセットを使用する場合

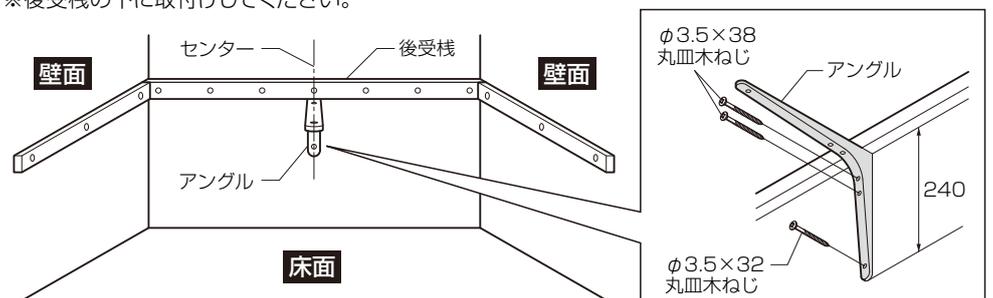
①横受棧と同寸法で補強用束を切断してください。



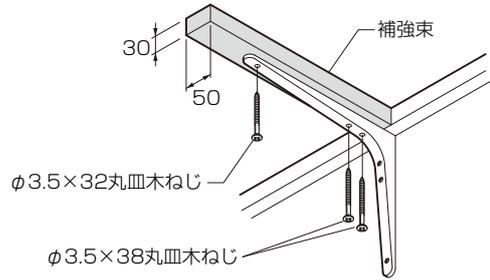
※補強用束は、長すぎると前框と棚板の間にすき間ができ、短すぎると前框または後受棧との間にすき間が発生しますのでご注意ください。

②3方の受棧を壁面に取付け後、アングルを付属のねじで後受棧センターの直下の壁面に固定してください。

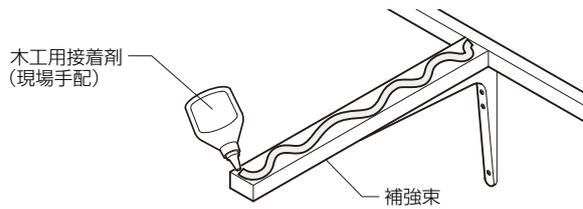
※後受棧の下に取付けしてください。



③①で切断した補強束をアングルの上へのせφ2.5深さ15で下穴をあけ、付属のねじで補強用束を固定してください。
 ※補強束は化粧されていない面を上に向けて取付けしてください。

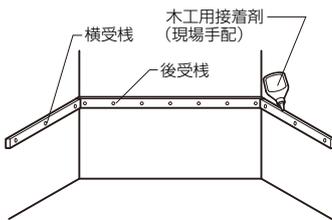


④補強束の上に接着剤を塗布してください。

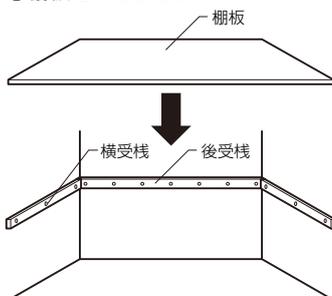


2 棚板の取付け

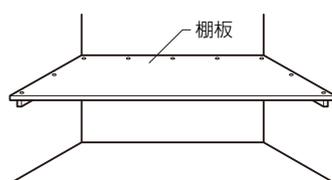
①接着剤を塗布します。



②棚板をのせます。

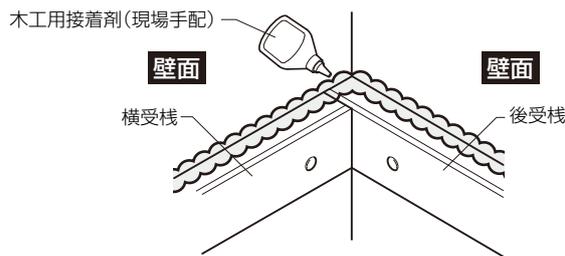


③棚板を釘止めます。

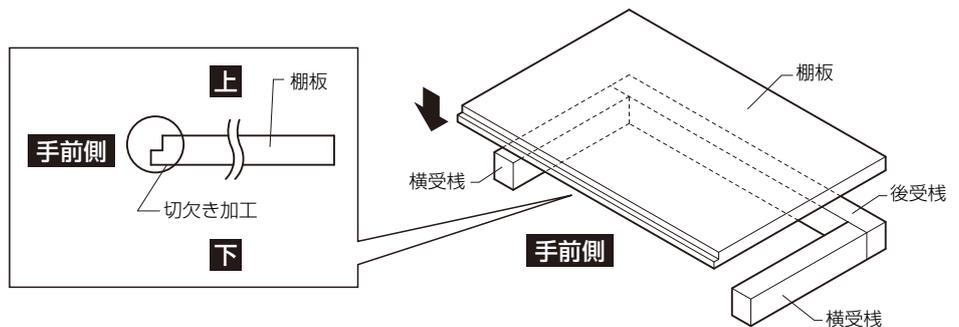


2 棚板の取付け

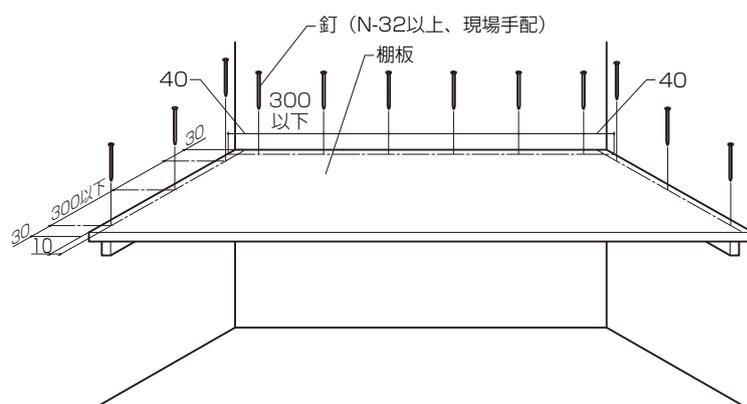
①後受棧、横受棧に木工用接着剤（現場手配）をとおして塗布します。
 ※点付けは不可です。棚板の浮きの原因となります。



②棚板の切欠き加工側が手前(前枠側)に、かつ加工面が上になるように棚板を受棧の上へのせます。



③棚板を下図要領で釘（N-32以上、現場手配）止めます。

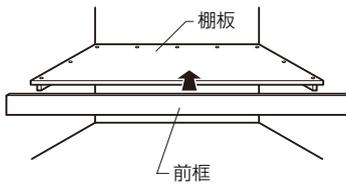


※棚板と受棧の間にすき間が発生する場合は、木ねじ（現場手配）を使用してください。

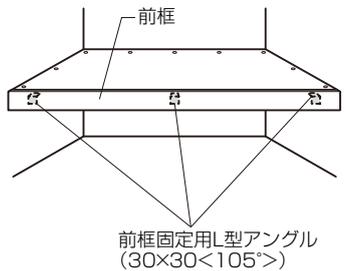
②前框の取付け

①接着剤を塗布します。

②前框を棚板に取付けします。

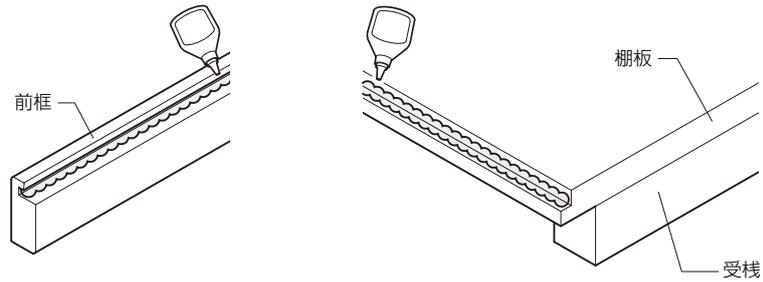


③④前框を固定します。

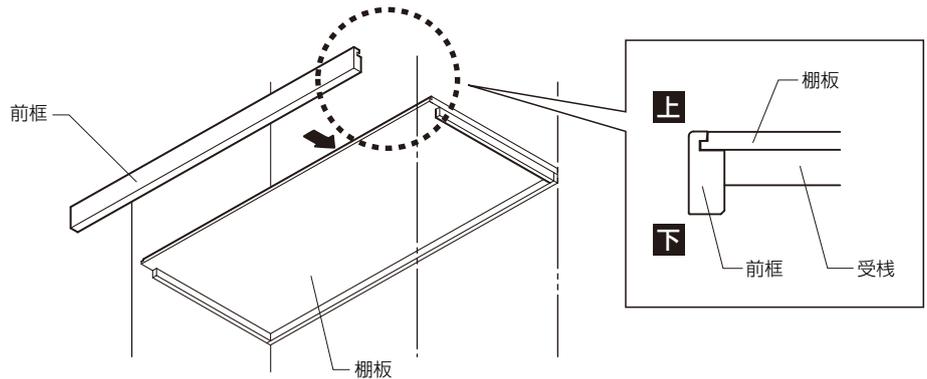


③前框の取付け

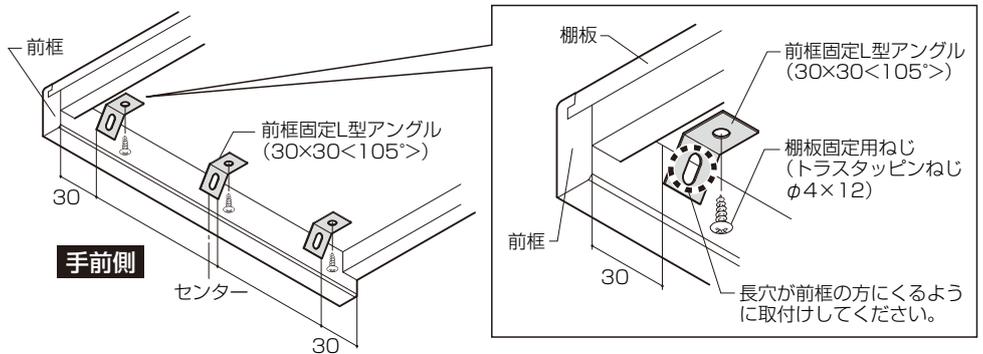
①前框と棚板に木工用接着剤（現場手配）をとおして塗布します。



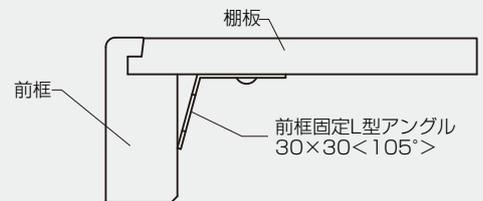
②棚板の切欠き加工に前框を差込んで取付けします。



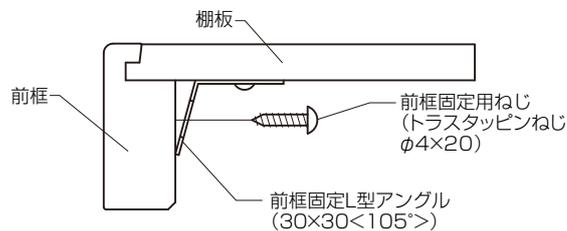
③棚板下面に前框固定L型アングル(30×30<105°>)を棚板固定用ねじ(トラスタッピンねじφ4×12)で3カ所固定します。(φ2.5深さ5で下穴をあけてください。)
※補強用束をセンターに取付けた場合は中央のL型アングルは補強用束のすぐ隣に取付けてください。



※前框固定L型アングルは棚板と水平に取付け前框とはアングルの先端が接する状態で固定してください。



④前框の裏面に前框固定L型アングル(30×30<105°>)を前框固定用ねじ(トラスタッピンねじφ4×20)で固定します。

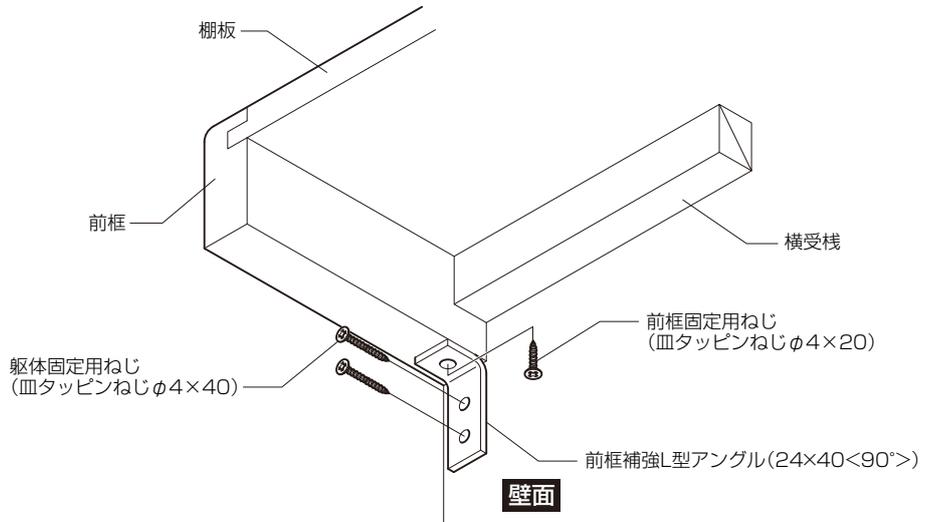


※固定ねじは出来るだけ棚板に対し、水平になるように取付けてください。

**4 前框補強L型アングルの取付け
(中段の場合のみ)**

4 前框補強L型アングルの取付け (中段の場合のみ)

①前框の両端の下面と壁面に付属のねじで2カ所固定します。(φ2.5深さ5で下穴をあけてください。)



**5 補強用束の取付け
(製品幅寸法が1931mm以上の
場合のみ)**

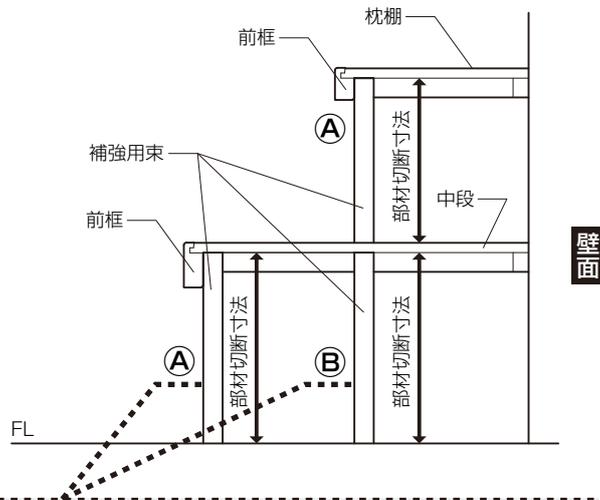
①補強束を切断します。

5 補強用束の取付け

警告

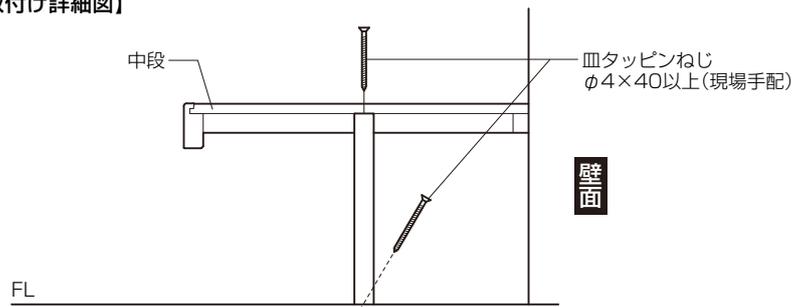
●製品幅寸法が1931mmを超える場合は必ず補強用束を取付けてください。
(ただし、枕棚に別売品のアングルセットを施工される場合は取付け不要です。)

①補強用の束を枕棚・中段の取付け高さに合わせて切断します。



※補強用束は、枕棚の下に奥行きが違う中段がくるような納まりの場合には①前框の後ろと②枕棚用の補強用束の直下の2カ所を取付けてください。また、②枕棚用の補強用束の直下の束の取付けは、下穴加工をし皿タッピンねじφ4×40以上(現場手配)で固定してください。

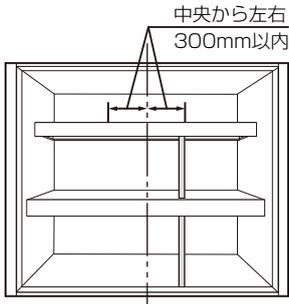
【②部補強用束取付け詳細図】



※ねじ頭が部材より出っ張らないように取付けてください。

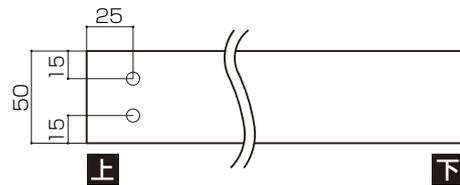
②④前框の後ろに補強用束を取付けます。

●取付け位置

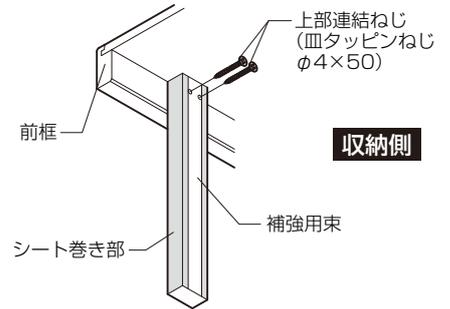


②補強用束にφ3で下穴(貫通)加工をし、棚板の中央から300mm以内に補強用束と前框を上部連結ねじ(皿タッピンねじφ4×50)で2ヵ所固定してください。

●補強用束 下穴加工位置

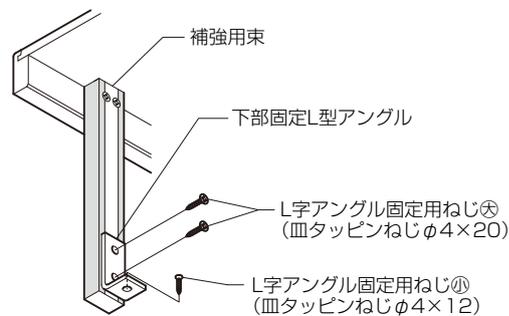


●取付け方向



※化粧されていない面を収納側に向けて取付けしてください。

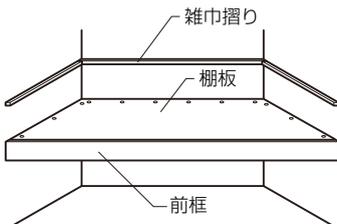
③補強用束の下端を付属の下部固定L型アングルとL字アングル固定用ねじで床もしくは棚板上面に固定してください。(φ2.5深さ5で下穴をあけてください。)



※床・棚板の固定には短い皿タッピンねじ φ4×12 を使用してください。

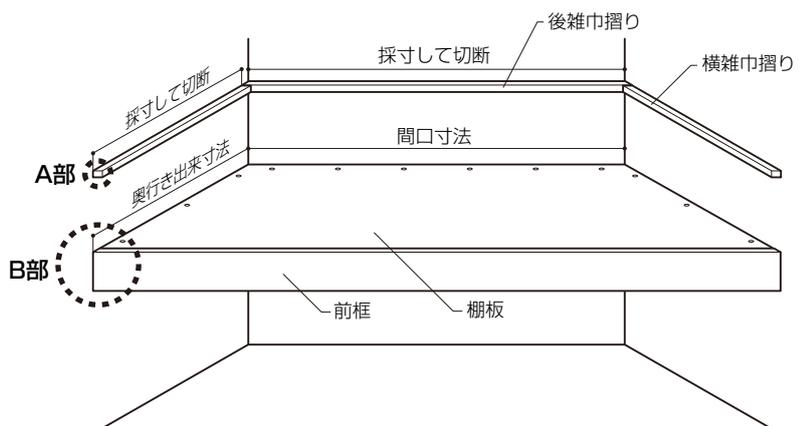
⑥雑巾摺りの取付け

①雑巾摺りを切断します。

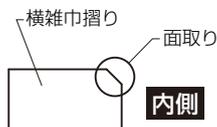


⑥雑巾摺りの取付け

①雑巾摺りを押入れの間口および製品寸法に合わせて切断します。
※W27用の後雑巾摺りは短い部材を中央で突き合わせて取付けしてください。

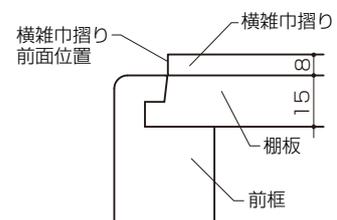


■A部詳細図

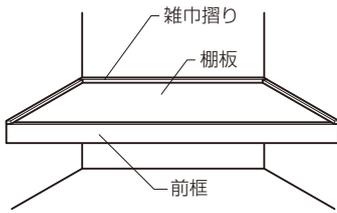


雑巾摺りの向きにご注意ください。
面取りされている側が内側になります。

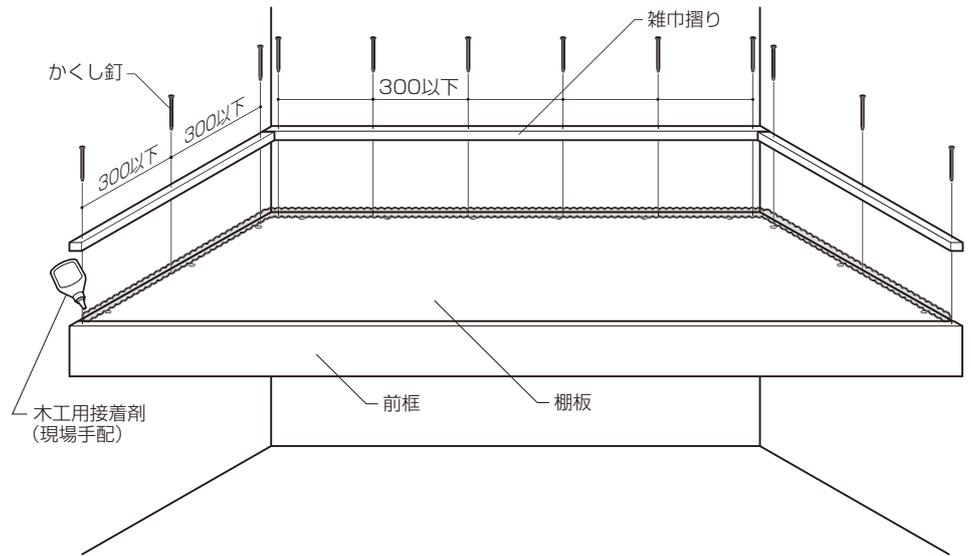
■B部詳細図



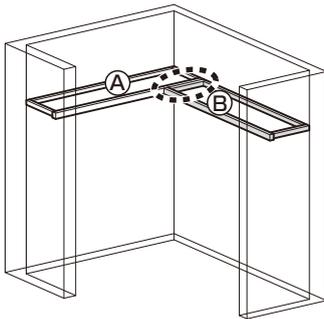
②雑巾摺りを取付けます。



④棚板に木工用接着剤（現場手配）を塗布し、雑巾摺りを下図要領でかくし釘（現場手配）止めします。

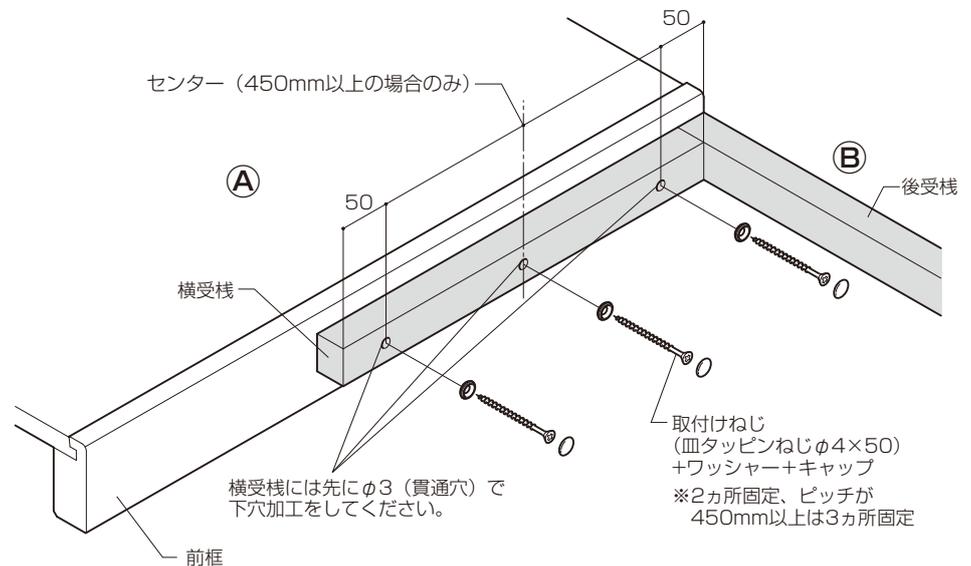


7 L型施工の場合（枕棚のみ）



7 L型施工の場合（枕棚のみ）

- ①3面が壁面につく（左図の）A側の枕棚を先に施工してください。
施工方法はI型と同様です。L字の長手方向が3面が壁面に付くように取付けてください。
- ②B側の後受棧を壁面に取付けします。
- ③Bの横受棧をAの前框に同梱の前框-受棧連結ねじ（皿タッピンねじφ4×50）とワッシャーで固定し、ねじキャップを取付けしてください。



④受棧にI型の納まり同様接着剤を塗布し棚板をのせ、釘（N-32以上、現場調達）で固定します。
その際、Bの枕棚のA側の横受棧と棚板との固定のみ接着剤とかくし釘で固定してください。

Bの枕棚の前框・補強束（必要時のみ）・雑巾摺りなどの施工方法はAのI型の納まりと同様の手順で取付けしてください。
※Bの枕棚のA側の横受棧上の雑巾摺りは取付け不要です。

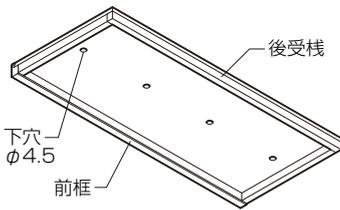
■ハンガーパイプの取付け順序

■ハンガーパイプの取付け

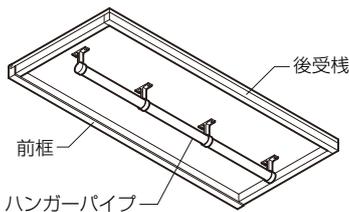
①ハンガーパイプを切断します。



②ハンガーパイプ取付け位置に下穴をあけます。



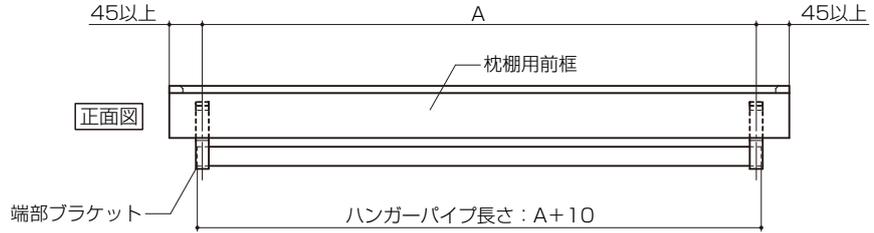
③ハンガーパイプを取付けます。



■ハンガーパイプの取付け順序

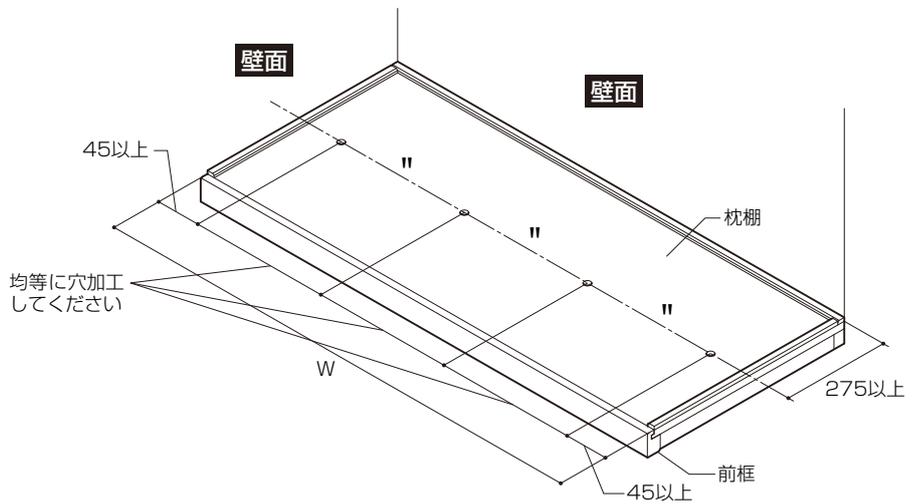
■ハンガーパイプの取付け

①枕棚の端部より45mm以上離れた位置に端部ブラケットの取付け位置を決め、そこからさらに+10mmした寸法でハンガーパイプを切断します。

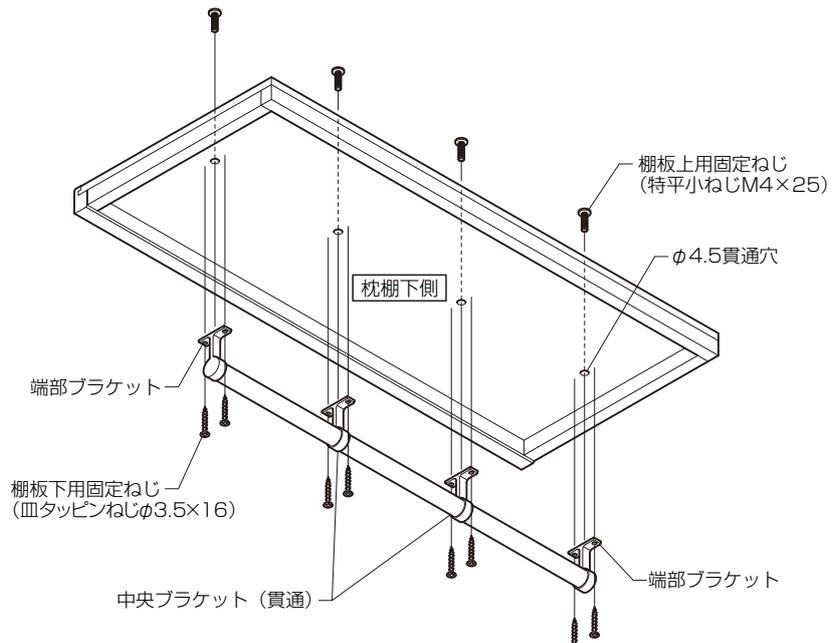


②ブラケット取付け穴を枕棚にφ4.5(貫通穴)で加工します。(上記"A"の位置に加工します。)

※枕棚製品W寸法～ 960までは2カ所
961～1930までは3カ所
1931～2700までは4カ所
の取付け穴加工をしてください。



③ハンガーパイプに端部ブラケットと中央ブラケットを通し同梱の固定ねじで取付けします。



※先に②であけた穴より棚板上側より特平小ねじ M4×25でブラケットを固定し、次いで棚板下側から、φ2.5深さ5で下穴をあけ、皿タッピンねじφ3.5×16で固定してください。